



鈴鹿の風

2016.1

第26号

「伊勢志摩サミットのロゴマーク と筋ジストロフィー患者」

院長 小長谷 正明

伊勢志摩サミットロゴマーク選考で優秀賞を受賞！

伊勢志摩サミット三重県民会議ロゴマークについて

国立病院総合医学会でベスト口演賞を受賞

臨床工学技士 人見 允隆

看護部だより

■ 東1階病棟の取り組みについて

地域医療連携室だより

■ 外来患者さんが第33回「東海テレビひまわり賞」を受賞

第3回筋ジストロフィー医療研究会開催のご案内

医学コラム

■ メタボリックシンドローム Q&A ～あなたのギモンに答えます～

院内成人式が行われました

トピックス

平成オタクコラムプロ野球編18

伊勢志摩サミット開催地の志摩市賢島

写真提供 伊勢志摩国立公園協会

病 院 理 念

- 私たちは、国民に奉仕する立場から、政策医療である筋ジストロフィー・重症心身障害・神経難病の分野において、患者様本位で質の高い専門医療を提供します。
- 私たちは、充実した医療と健全な経営を心掛け、常に意識改革を怠りません。

伊勢志摩サミットのロゴマーク と筋ジストロフィー患者

独立行政法人国立病院機構 鈴鹿病院長

こなが や まさあき
小長谷 正明



明けましてお目出とうございます。

今年は伊勢志摩サミットの年です。歴史が古く、風光明媚で、穏やかな、いかにも世界平和を話し合う先進主要7カ国サミットに相応しい土地柄です。

そのサミットには、鈴鹿病院としても、誇らしい関わり合いがあります。シンボルマークです。伊勢志摩サミットのための三重県県民会議のシンボルマークに、当院に外来通院中の近藤敦也さんのデザインが採用され、ポスターや名刺、広報など、さまざまな場面で活用されています。実は、近藤さんは、2008年に行われた先回の先進国首脳会議、洞爺湖サミットでは政府の公式ロゴマークにも選ばれています。車椅子と人工呼吸器で生活しなければいけない状況ですが、そのデザイナーとしての抜群のセンスにひたすら感心します。

患者さんたちの美的センスはそれだけではありません。今回の伊勢志摩サミットでのロゴ募集でも、西1階に入院中の中村圭吾君(13)のデザインがベスト・シックスに選出され、暮れの12月28日に東京の首相官邸で安倍総理大臣から表彰されました。私は中村君が最終選考に残ると思っていたのですが、別の方に決まって、残念な気がします。しかし、このセンスを生かし、これからも美的知的活躍をしていかれるだろうと期待しています。過去には東1階に入院中の患者さんが、絵画で文部大臣賞を受けたことがあります。それだけでなく、趣味として行っている絵画や伊勢型紙、革細工などで素晴らしい技を見せていただくこともあります。

筋ジストロフィーやALSなどの、手足が不自由で呼吸も障害される患者さんは一見、知的能力も障害されているような印象を持たれることがありますが、旺盛な方も少なくありません。以前の入院患者さんの中には、独学で英語を勉強し、インターネットでアメリカの筋ジストロフィー協会や医療機器会社、JALなどと交渉し、ほぼ独力でラスベガスやハワイに行ってきた人もいます。また、在宅でデザイナー事務所や介護ステーション、建築事務所を経営されている方もいます。他の病院には博士号を授与された筋ジストロフィーの患者さんもいるとのことで。(もっとも、中には、政治資金をばらまいた元国会議員がいましたが)

この鈴鹿病院は、医療を必要とする障害者の方たちのための、社会のセーフティネットとしての役割を担っています。患者さんたちが、ご自分の能力を生かして社会に、時には世界にアピールして行くのを、後ろから支えることにも、職員一同、誇りとともに喜びを感じます。



2008年に行われた洞爺湖サミットの公式ロゴマーク。近藤敦也さんがデザインしました。



「伊勢志摩サミット」ロゴマークの優秀作品に患者さんの作品が選ばれました!

❀ 中村 圭吾くん (中学1年) が優秀作品を受賞 ❀

今年5月に三重県賢島で開催される主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）のロゴマークの公募で、当院入院中の中村圭吾くん（中学1年）の作品が優秀作品に選ばれ、年末の12月28日に首相官邸にて開かれた表彰式に本人、お父さん、学校の先生とともに出席してきました。

伊勢志摩サミットのロゴマークのデザイン案は、昨年7月上旬から9月下旬の募集期間中に全国の小中高生、特別支援学校の児童生徒から7,084作品の応募があり、クリエイティブデザイナーの佐藤可士和さんを座長とする9人の有識者らで構成される選考委員が優秀作品6点を選び、最終的に安倍首相が採用作品を決定されたとのことでした。残念ながら最優秀作品には選ばれませんが、7,000作品を超える中から優秀作品6点に選ばれたことはたいへん名誉なことでもあります。



中村くんが作成したデザイン案

配慮をいただきました官邸広報室の皆様がこの場をお借りして改めてお礼申し上げます。

表彰式では、安倍首相から表彰状を手渡されたうえで2ショットの記念撮影と、近くで見ている私まで肩が凝ってしまうほどの緊張感漂う式典でしたが、何事もなく無事終了いたしました。

表彰式終了後、官邸内の見学までさせていただくなど本当に貴重な体験をさせていただきました。

最後になりますが、いろいろご

療育指導室長 山内 慎吾

首相官邸にて
安倍首相より
表彰を受けました



伊勢志摩サミット三重県民会議ロゴマークについて



伊勢志摩サミット
三重県民会議

このシンボルマークは、当院神経内科外来に定期通院されている近藤敦也さん(26)が作成されました。近藤さんは、難病を抱えながらも平成20年の北海道洞爺湖サミットのロゴマーク公募で最優秀作として採用され、その後、現在に至るまで継続的にデザイナーとして活躍されています。

マークは、手をつなぐ2人が次世代へのつながり、波線は世界と三重の人々をつなぐタスキを表現しておりサミットで培われたあたたかなつながりを次世代へ受け継いでいこうという決意が込められています。近藤さんは全部で3案を提案。県民投票(投票総数3,577票)、県民会議の会長、副会長、理事による投票の結果、このシンボルマークに決定しました。マークはPRポスターや関係者の名刺などに使われています。

国立病院総合医学会でベスト口演賞を受賞

平成27年10月2日(金)、3日(土)の両日、北海道のロイトン札幌において第69回国立病院総合医学会が開催されました。この学会は、主に全国143病院ある国立病院機構と国立研究センター、ハンセン病療養所の病院が集まり毎年行っている学会です。

今回は「地域でつくる明日の医療～まいにちから、まんいちまで～」をテーマに一般演題2,597題(口演発表597題、ポスター発表2,000題)のほか、35のシンポジウム、1つのサテライトシンポジウム、26のランチョンセミナーを行いました。当院からは、ポスター発表14題、口演発表3題の発表を行い、人見允隆 臨床工学技士がベスト口演賞を受賞しました。



臨床工学技士
人見 允隆

今回の開催地である北海道は総合医学会前日に爆弾低気圧が猛威を奮い、飛行機のフライトが心配されましたが、当日の札幌は爆弾低気圧がウソの様な快晴で、会場にも沢山の人が参加し賑わっていました。

今回「重症肺炎にパーカッションベンチレーターと排痰介助の併用が著効した筋ジストロフィーの例」という表題で発表しました。重症肺炎患者様に様々な職種の方々と協力しながら治療に当たり、良好な結果を得る事ができた経験からできた発表でした。パーカッションベンチレーターという治療は筋ジストロフィー分野には先行文献が乏しく、発表時は多くの質問や、他施設ではどのような工夫をしているかなど、活発な議論が交わされ、今回の発表が他施設での治療の一助となれた事を喜ばしく思っています。

今後もチーム医療の一員としてより良い治療・ケアを提供できるよう努力してまいります。

最後に、今回の発表をまとめるに当たり御協力・御指導頂いた患者様・先生方に深く感謝致します。

地域医療連携室だより

外来患者さんが 第33回「東海テレビひまわり賞」を 受賞されました

当院神経内科外来に通院されている村田浩之さん(53)が第33回「東海テレビひまわり賞」を受賞されました。



受賞された 村田 浩之 さん

身体の障がい克服して自立し、社会に参画して他の模範となって活躍している方を表彰するもので、東海テレビと東海テレビ福祉文化事業団が毎年度行っている福祉事業です。

本年度は愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市から各1名計4名の方が表彰を受け、顕彰式は東海テレビ本社(愛知県名古屋市)にて12月11日(金)に行われました。



東海テレビ本社にて



表彰状と記念品がご自宅に飾られています

メタボリックシンドローム Q&A

～あなたのギモンに答えます～

内科部長 棚橋 保

Q1 メタボリックシンドロームとはどういうものですか？

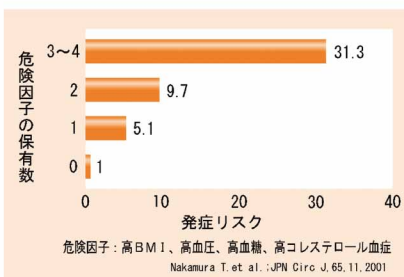
生活習慣病とよばれている主な疾患に「高血圧」「糖尿病」「脂血症」などがありますね。これらは脳卒中や心筋梗塞を引き起こす一因（＝リスクファクター）となることはよく知られていることですが、この「高血圧」とか「糖尿病」とかいった疾患はそれぞれが独立した別の病気ではなく、肥満、特に内臓に脂肪が蓄積した肥満と強く関連していることがわかってきました。「高血圧」や「糖尿病」の上流に内臓脂肪蓄積型肥満が存在するということですね。

そして1998年に内臓脂肪蓄積によりさまざまな病気が引き起こされた状態を「メタボリック症候群」と命名され、病態を総合的に把握し治療していくべき対象として考えられるようになってきました。

Q2 メタボリックシンドロームになるとどんな危険性がありますか？

メタボリックシンドロームの人は、動脈硬化の危険因子である「肥満症」「高血圧」「糖尿病」「脂血症」を重複して発症していることがよくあります。下の表のように、これら危険因子が複数重なるたびに動脈硬化性疾患のリスクが5倍、10倍とどんどん高くなっていくことがわかっています。1 + 1 = 10倍なのです。

このように、たとえ個々の異常の程度は軽くても複数の危険因子を持っている状態は、思っている以上に危険な状態なのです。



Q3 メタボリックシンドロームの診断基準を教えてください

メタボリックシンドロームの診断基準では内臓脂肪の蓄積が必須条件と位置づけられています。それに加え、高血圧、高血糖、高脂肪の3つの項目のうち2つ以上を満たしている場合に「メタボリックシンドローム」と診断します。

具体的な内容は下表に示すとおりです。

メタボリックシンドロームの診断基準

必須項目

内臓脂肪蓄積
ウエスト周囲径 男性 $\geq 85\text{cm}$
女性 $\geq 90\text{cm}$
(内臓脂肪面積) 男女とも $\geq 100\text{cm}^2$ に相当)

選択項目

これらの項目のうち2項目以上

高トリグリセリド血症 $\geq 150\text{mg/dL}$
かつ/または
低HDLコレステロール血症 $< 40\text{mg/dL}$

収縮期(最大)血圧 $\geq 130\text{mg/dL}$
かつ/または
拡張期(最小)血圧 $\geq 85\text{mg/dL}$

空腹時高血糖 $\geq 110\text{mg/dL}$

*CTスキャンなどで内臓脂肪量測定を行うことが望ましい。

*ウエスト周囲径は立ったまま、軽く息を吐いた状態でへそまわりを測定する。

*高トリグリセリド血症、低HDLコレステロール血症、高血圧、糖尿病に対する薬剤治療を受けている場合は、それぞれの項目に含まれる。

日本内科学会雑誌94(4)、188, 2005

Q4 診断基準はどのように決められたのですか？

2005年、日本内科学会、日本循環器学会など8学会の委員で構成されたメタボリックシンドローム診断基準検討委員会により、数多くの大規模臨床試験のデータが検討され、より実際の指標となるべく基準値として決められました。これはメタボリックシンドロームを構成する因子の中でも、内臓脂肪の蓄積が重要な役割を担っていることを明確にしているもので、日本独自のものです。

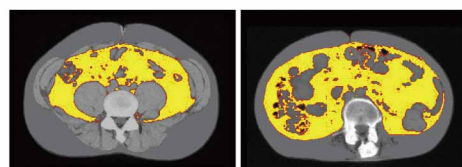
この考えは徐々に世界的に広がってきており、内臓脂肪を必須項目とした診断基準が各国で整いつつあります。

よく人間ドック学会が公表している基準値との違いを指摘されるのですが、人間ドック学会では疾患との関連付けのない単なる統計学的な平均値などから割り出した値なので、メタボリックシンドロームの診断には人間ドック学会の基準は使いません。

Q5 腹囲の基準が欧米と異なるのはなぜですか？

根拠としているデータのの違いによります。内臓脂肪量を測定するにはCTスキャンによる測定が一番有用ですが（下図）、日本はCTスキャンの普及率が欧米に比べて格段に高く、腹囲と内臓脂肪との関連についてより多くのデータを蓄積しています。

日本ではそのデータを根拠としてこの基準が採用されました。これこそ、内臓脂肪に重きを置く日本独自の基準と言っていいでしょう。



《皮下脂肪型肥満》
内臓脂肪：94.8cm²

《内臓脂肪型肥満》
内臓脂肪：196.4cm²

Q6 メタボリックシンドロームの治療の目的は何ですか？

正確にはメタボリックシンドロームの「治療」ではなく「コントロール」、すなわち動脈硬化の危険因子を減らすこと、と言い換えた方がいいでしょう。動脈硬化の危険因子を減らすことはもちろん脳卒中や心臓病の発症リスクを減らすことにつながります。言葉を換えれば、「寝たきりの予防」が最終目的だと考えてください。

Q7 メタボリックシンドロームの具体的な予防法・治療法を教えてください

良く言われるように適度な運動とバランスのとれた規則正しい食事が基本です。それに加えて薬剤による治療（医学的介入）と言います。実際コレステロール値を食事と運動療法のみで下げる事は至難の業ですが、薬を使えば容易に下げられます。更に言えば、薬で下げた場合でも脳卒中や心臓病の予防効果はかなり高いということが、数多くの大規模臨床試験により証明されています。

Q8 一旦始めた治療は止められませんか？もし止めた場合どうなりますか？

治療を止めると脳卒中や心臓病の“予防効果”がなくなります。それ以上でも以下でもありません。治療を再開すれば、またその予防効果は復活します。

平成27年度

院内成人式が開催されました

1月20日に平成27年度院内成人式が開催されました。

今年度は4名の患者さんが新成人となり、ご家族とともに式典に臨みました。病院長をはじめとする病院幹部職員や新成人の出身校である特別支援学校の先生方を来賓として招き、お祝いの挨拶とともに激励の言葉をいただきました。



トピックス

院長表彰式を開催



平成27年12月28日に院長表彰式を行いました。本表彰は、この1年間に特に優れた功績があったと院長が認めたチーム又は個人に対して贈呈するものです。

平成27年は以下の3チーム及び個人が小長谷正明病院長より表彰を受けました。

受賞チーム・受賞者

- ①チーム名：「歯を大切にし隊!!」
表彰理由：国立病院機構QC活動において優秀賞を受賞した。
- ②臨床工学技士 人見 允隆
表彰理由：国立病院総合医学会においてベスト口演賞を受賞した。
- ③ボイラー技士長 館 園生
表彰理由：職員親睦を深めるとともに他の職員の模範となった。

いきいき健康講座を開講しました

10月14日に中央病棟3階プレイルームにて「第13回生き生き健康講座」を開講しました。当日は地域住民の方など60名程の皆さまにご参加いただきました。

第一部では久留臨床研究部長による『加齢と筋肉—サルコペニアをめぐる話題』、第二部では小林栄養管理室長による『加齢による特徴と食事ポイントについて』という題目でそれぞれ講演を行い、第三部では埴理学療法士による『すわってできる呼吸体操』をレクチャーしました。講座の最後には、星山看護部長より家庭での応急対応について特別講演があり、いざという時のために活用できる知識を深めました。



2012年秋、山中教授ノーベル賞受賞の報に接したのはセントレアの国際線出発ロビーであった。オーストラリアで開催される国際学会へ向かう直前の朗報に、何か幸先のよさを感じて、よし俺も頑張ろうと勇気ももらい一路パースへと向かった。

しかし残念なことに気合は空回り、過度に緊張しただけで不完全燃焼のまま僕の学会出張は終わってしまった。胸に失意と安堵感の交錯する中、帰りの飛行機で飛び込んできたのはオリックスの西勇輝投手ノーヒットノーラン達成のニュースであった。

実は西投手の出身は三重県の菰野で、我が鈴鹿病院のご近所なのである。当時はまだそれほど有名でなかったが、2014年にプレイクして開幕から連戦戦勝、エース金子との2本柱でバファローズ躍進の原動力となった。なお、この試合はペナントレースの最終

戦であり、対戦相手ソフトバンクの小久保裕紀（現・侍ジャパンの監督）の引退試合でもあった。きつと球場は微妙な雰囲気包まれたであろうことは想像に難くない。

日本に帰ると、山中先生の受賞理由となっていたIPS細胞を心臓に移植したというビッグニュースに日本中が沸きかえっていた。と思いきや、何やら雲行きが怪しい。読売新聞は第一面に世界初の快拳と派手に報じたが、朝日や毎日には全く載っていない。最初は一体どうなっているのか戸惑うばかりであったが、徐々に化けの皮が剥がれ、次第にこの話題は科学の分野からワイドショーへと舞台を移し、科学界の一大スキャンダルとして連日報道されることになった。しかし、この僅か2年後、同じ再生医療の分野でこれをはるかに上回る大スキャンダルが起ころうとは、誰も予想ができなかった。



平成オタクコラレ

プロ野球編18

臨床研究部長 久留 聡

◆ 外来診察担当表 (2016年1月1日現在)

	月	火	水	木	金
神 経 内 科	小 長 谷	酒 井 木 村	久 留 南 山	小 長 谷	久 留
内 科	野 口	内 科 医 師	安 間 (循環器内科)	安 間 (循環器内科)	棚 橋 (循環器内科)
小 児 科		予 約			予 約
整 形 外 科		田 中 (装具外来)			田 中
リハビリテーション科					田 中
皮 膚 科		予 約			
歯 科	井 上	松 谷 (午後)			
禁 煙 外 来	野 口			安 間	

- 外来受付は8:30~11:00、診療開始は9:00~です。
- 歯科は身体障害者の方に限ります。
- 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越しください)。
- 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約ください。
- スギ花粉症でお悩みの方を対象に舌下免疫療法を実施しています。(月曜日)
- 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。

◆ 交通案内

- JR「加佐登」駅より徒歩8分
- 東名阪「鈴鹿」I.C.より車8分
- 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- 鈴鹿市西部地域コミュニティバス
椿・平田線「26加佐登神社」下車すぐ



◆ 編集後記

新しい年が明けました。私事ですが、昨年五十になり孔子が言う『天命を知る』歳となりましたが、まだ立つこともできず、迷ってばかりの人生です。(泣)ただ、この歳になっても学を志す気持ちだけは変わらず持ち続けていたいと思っています。

業務班長 荻野 恭正

独立行政法人国立病院機構 鈴鹿病院

〒513-8501 三重県鈴鹿市加佐登3丁目2番1号 Tel 059-378-1321代 Fax 059-378-7083 <http://www.hosp.go.jp/~suzukaww/>

平成28年1月発行